



桜のつぼみも膨らみ始め、春の風が暖かさを運んできました3月20日（金）に0・1歳のちゅうりつ組と2・3歳児のすみれ組27名の子どもたちはみんなで生田緑地までお散歩に行きました。

この日は待ちに待ったお別れ遠足の日、すみれ組はお母さんが用意してくれたお弁当、水筒、おやつをリュックサックに入れてしっかりと歩いて行きました。ちゅうりつ組はバギーに乗っていきくと自分で歩ける子は歩いて枳形山公園に行きました。公園ではみんなで集合写真を撮ったり、大きな滑り台や固定遊具で身体をいっぱい動かして遊び楽しい時間を過ごしました。すみれ組はSL広場へ向かい車両の中を見たり座席に座ったりしました。その後は芝生広場や科学館の中でいろいろな動植物を見て大興奮でした。

4月からは別の幼稚園や保育園に行く子、進級する子それぞれの道に進んで大きく成長してくれることを願っています。

主任保育士 上山知世



宮前コスモスの家「絵の会」に名前がつけました！その名も「グループ華」です！

栗山先生の命名です。もちろん全員賛成です！我々高齢ながら前向きにがんばって生きています。「いつまでも心はきらびやかで、美しくありたい！」と思い、決めました。

教室の日は、どうしても部屋でお花や静物を描くことになりませんが、写生にも行きたいねという希望もあります。

写生に先立って、何気ない風景や自分が行った観光地、山や川、森や林など自然を撮った写真を参考に、景色の絵も教えていただくようになりました。

今度のふれあいまつりには、風景画も並ぶことになると思います。どうぞよろしく。

板垣尚子記



2月末の暖かい日に近くの公園にお散歩に行きました。

花の季節には少し早かったようでしたが、おひさまのありがたみを感じながらシートの上で寝転んだり、体操をしたりとゆつくりとした時間を過ごしました。次はお花見に行きましょう（笑）

山口洋美記



ぽかぽか陽気に包まれて、みなさんとっても楽しそうです！それにいいお顔してますね！



住みづみづまれる地域づくり

地域包括ケアについて

3月14日（土）日本女子大学人間社会学部黒岩亮子先生をお招きして「地域包括ケアシステム」について講演していただきました。

黒岩先生は川崎市地域包括ケアシステム検討協議委員会の委員でもあります。「介護の社会化」を掲げて始まった介護保険ですが、今回の改正で「介護の地域化」に移行していきます。講演のテーマは①自助と互助の協調性②地域ケアシステムってなに？③問題点です。

地域包括ケアに至るまでの背景について

1960年代後半、高度経済成長時代は介護施設が多く作られましたが、70年代に入って長寿化が進み、オイルショックを経て財政難から公助から自助へと様変わりしていきます。少子・高齢化を危惧し、福祉国家を目指しましたが、欧米とは違う日本特有の

「美徳意識」

に頼る「日本型福祉」の方向へ向かいます。



日本女子大学 人間社会学部 黒岩亮子先生

す。これは、家族や地域で支え合うというもので、特に都市部では家族扶養の低下、核家族化もあり、孤独死が増えていきます。82年には老人福祉健康法が成立、高齢者自身の自助努力と家族の介護努力が求めら

2015 年秋冬号 No. 101

特定非営利活動法人・秋桜会 コスモスの家
〒214 0034 川崎市多摩区三田二一五
TEL 〇四四・九三二・二四四 FAX 九三二・二四四



コスモスの家 理事長 渡辺ひろみ

は「病院完結型」から「地域完結型」に移行していく、つまり「病院死」から「在宅死」の心構えを持たなければならなくなるのです。

2000年に介護保険法が成立し、福祉は「措置」から「契約」形態になりました。当初は、「介護の社会化」を目指しましたが、世界でも例を見ない長寿高齢化、また財源確保が困難となり、介護保険も3年ごとの見直しを迫られ、今後は「公助」から「自助」と「互助」が大前提となります。

川崎市が推進する地域包括ケアシステム推進ビジョン案では、子どもからお年寄りまで障害を持っていたり、誰もが住み慣れた地域、自ら望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指すとしています。①自助②「ケア」への共通理解とセルフケア意識の醸成③まちづくり④安心して暮らせる住まいと住まい方の実現⑤互助⑥多様な主体の活躍によるよりよいケア

これらを実現するための資源は産業集積と自発的な支え合いとしていますが、高齢化や介護の担い手不足などの課題も浮き彫りとなっています。

「互助」の担い手として団塊世代マンパワーに期待するという事です。また専門職として介護に従事する介護保険事業所は「共助」としてサービスを提供して



いくことになりませんが、地域包括ケアシステムは行政主導となるので、ニーズと一致するか、どのようにマネジメントされるのかが未だ具体的に示

されていません。軽度者には地域住民の「互助的サービス」質の高いサービスを求めるならば「専門職によるサービス」など、多様なサービスをどう決めていくのか、今後1年間の準備期間を経て、平成28年4月から施行される「地域包括ケアシステム」ですが、行政主導ではあっても、住民一人ひとりが自分たちの問題と考えて、声を上げていくことが重要だと思われます

★質疑応答

Q「自助」「互助」というが、質の高いサービスを受けたいのであれば、自己負担してください、結局はお金をもっているかないかで決まるのでは？

A財源等現実的に考えてそうなることは否めません。

Q介護保険改正も含めて、すでにある程度はきまっているのではないかな？

A説明会に行ってもまだ何も決まっていけないと言われる。実際に発表する可能性が高い。

Q川崎市の中でも区単位で地域差がある。そのことをどうしていくのか？また市民貢献の位置づけがされていないかな？

A地域差については、調査、検討している。市民貢献の位置づけの話は出ていない。今後の課題としたい。

Q要支援者のサービス提供がどうなるのか、わかっている範囲で教えて欲しい。

A要支援者の振り分けはだいたい決まっているが、確定ではない。

取材 藤井さゆみ

どうなる？ 介護保険

川崎市は平成28年度から
改定施行！

要支援のサービスは？
サービス内容は変わるの？
介護報酬はどうなる？

3月19日（木）エポック中原にて川崎市より平成27年度介護報酬改定等に係わる説明会が実施されました。
川崎市においては、施行は一年後でも、4月から事業所の報酬単価切り下げが決まり、利用者のより一層の費用負担が予想されます。

要介護

川崎市の介護保険料が第6期で基本月額5540円と値上がりしています。
そして、これからは、高齢者がどんどん増えるので、病院で最期を迎えるのを希望するより、自分の老後は自己責任で始末できるように覚悟を決めて老後設計をしないと、市は数字や図を示して説明会を行っています。

川崎市では、平成28年度から「要支援Ⅰ・Ⅱ」が介護保険給付から外され、市の総合地域支援事業に移行されます。

今後、介護保険はどうなっていくのか、利用者も事業所も先が見えない不安があります。
①在宅における中重度の要介護者の支援者を促進する

②中重度の要介護者を重点的に受け入れるとともに、人員基準を上回る常勤のサービス提供責任者を配置する事業所に對する評価として、サービス提供責任者の価値基準を見直す

①基本報酬が見直され、単位数が減り、報酬も下がる

利用者の費用負担について

①第1号被保険者のうち合計所得金額160万円以上の場合2割負担
②1割負担者も含めて認定者全員に「負担割合証」を平成27年7月に配布予定
③平成28年8月以降、被保険者が介護保険サービスを受ける場合には、「被保険者証」と「負担割合証」が必要となる

自立
コスモスの家は、介護する人、される人という一方向的なケアにならないように、ともに楽しく、安心して過ごせる居場所づくりを進めてきました。利用者、家族の思いを受け止め、寄り添う中で、スタッフやボランティアもやりがいや生きがいを感じてもらい、元気で頑張ってくれたと思います。今後、介護保険の利用者も含め、保険料を払いながらもサービスを利用していない80%の高齢者の「地域での老後生活」を視野に入れ、市・区と協力し、まちづくりの中で住民の皆様とともに「地域包括ケアシステム」を作り出して行かなくてはならないと考えます。
コスモスの家ケアマネージャー 水野正代

在宅介護

平成27年度総会開催のお知らせ

開催日 平成27年6月14日（日）

午前10時～正午

開催場所 コスモスの家

デイサービスセンター
ケア室

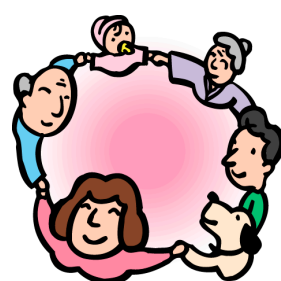
★午後は、恒例の歓送迎会を開きます。

理事長より

NPO法人・秋桜舎コスモスの家が27回目の総会を迎えます。
介護保険制度が始まって15年が経過しました。

今年度は、大きな改定が施行されます。今後、改定後の介護保険制度と地域包括ケアシステムの中で、コスモスの家はどうなっていくのか…
27回目の総会は大きな節目となると思います。

一人でも多くの方のご参加をお願いいたします。



めだかの地域大学 交流会

生田中学校吹奏楽部による
クリスマス・コンサート

昨年12月23日、毎年恒例の生田中学校吹奏楽部演奏によるクリスマスコンサートが開催されました。生徒のみなさんは、朝から準備に大忙し！本番は少し緊張した面持ちでしたが、素敵な演奏を聴かせてくれました。

地域の方々や保護者のみなさん、たくさんの方が来場してくださいました。



吹奏楽部のみなさん、ありがとうございました。来年も楽しみにしています！



初釜&交流会

こちらも、コンサート同様毎年恒例となっております。

生田中学校の生徒さんたちと地域の方々の交流会「初釜」と「百人一首」。

シャカシャカ

初めてかな？

初めての
お点前、
お味は如何でしたか？

どうぞ

石高さんのお点前

どこかな？

百人一首は
白熱した闘
いとなりました（笑）

第12回 三田花見の会

毎年恒例、「三田花見の会」。今年は桜も調度いい感じに咲き始め、心配していたお天気もなんとかもって、みなさん、お団子やおにぎり、やきとり、とん汁を手にとって楽しんでいました。花より団子？（笑）午後は三田ハーモニカ愛好会の方々による演奏で春の歌等を楽しみました。



2015年
1月11日（日）

コスモスの家 新年会
ホテルモリノにて

